

2018.9.28 石寄新聞

運転手確保へ企業ボラ

除排雪レンタル事業で答弁

【名寄】名寄市議会 決算審査特別委員会 問。

(東川孝義委員長)は26日午後、労働費、農林業費、商工費、土木費、災害復旧費で質疑を行った。

山崎真由美議員(市民連合・凜風会)は、2017年度実績がゼロだった女性農業者支

援事業への認識で質やすい周知に努力するとした。

岡村美佳経済部参事(農業経営担当)は、道北なよろ農協女性部へのチラシ配布や加工グループなどに事業概要を説明している他、経営安定や栽培技術向上など幅広く活用できる事業のため、分

かり山田裕治農務課長は、複数戸の農業者を構成員とした協業法人化推進に向けた研修会

開催などに取り組んでいるとしながらも、「経営を一つにする」とへの抵抗感の他、「優良事例があっても自分たちに当てはめて考えるのは難しい」とする意見もある」と現状を説明。

一方、各地域の農業機械組合などを核に他地域での作業に取り組めるかの意向調査を検討し、緩やかな形で労働力不足の解消に取り組んでいく考えを示した。

佐久間誠議員(市民連合・凜風会)は、町内会に対して小型シヨ

ベルとタンクカーを無料で貸し出して除排雪を支援するレンタル&ゴー事業で「実績が1件のみだったが、今後の課題は」と質問。

木村高明都市整備課主幹は1件の実績について、「重機の免許保有者はいるが、操作作業に不慣れのため、結果、本運用までとはならなかった」として、「町内会要望に応え、社会福祉協議会の中の企業ボランティアで運転手を確保する」と課題解消に向けて説明した。

(秋元)